



平成29年度

行政評価を核とするマネジメント

～予算・決算、総合計画への活用～

行政評価(事務事業評価、施策評価)は、自治体の経営改革や政策形成を行っていく上で、有効なツールとして活用できます。また、KPI(重要業績評価指標)の設定された「地方版総合戦略」について、平成28年度以降、行政評価の手法による進捗管理が求められるようになっていきます。

この研修では、事務事業評価を導入している(導入予定を含む)自治体の職員の方を対象とし、行政評価の有効性を一層高め、自治体の経営改革や政策形成に活用するとともに、各種戦略・計画の実効性を高めるための方策を学びます。

研修の特徴

- 1 事務事業評価と施策評価の目的や実施手順を理解する。
- 2 行政評価を予算編成、決算報告に活用する手法を理解する。
- 3 行政評価を総合計画、地方版総合戦略等各種計画の進捗管理、人材マネジメントに活用する手法を理解する。
- 4 行政評価の運用上の課題について解決方法を考える。
- 5 総合計画、財政計画、行財政改革計画を一体的にマネジメントするための行政経営システムの仕組みと考え方を理解する。

開催要領

日程

平成29年7月19日(水)～7月21日(金)(3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

事務事業評価を導入済みの市区町村等で、事務事業評価担当課、行政評価担当課の職員
※未導入団体の方も受講可能です。ただし、研修内容は、主に導入済み団体の方を対象にしています。
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10,500円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

平成29年6月6日(火)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<http://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <http://www.jiam.jp>

平成29年

7月
19日(水)

11:00～ 入寮受付・昼食
12:30～ 開講・オリエンテーション

13:00～18:35

基調講義 行政評価の基本と実践(1)

行政経営の考え方を学ぶとともに、事務事業評価の目的や仕組みについて再確認します。その後、現行制度の改善(指標設定などの見直し)に対応するために必要な知識を学びます。さらに、施策評価の導入目的や実施手順などを学びます。また、行政評価を総合計画、地方版総合戦略の進捗管理や予算編成改革、決算報告へ活用するための手法を解説していただきます。翌日の課題演習の内容や進め方についてもご説明いただけます。

19:00～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00～11:05

課題演習I グループ討議

講師作成のケースを利用してグループ別に討議を行い、事務事業評価のポイントとなる次の点について理解を深めます。(ポイント)・指標の考え方・事務事業の課題の発見・課題に対する改善案の検討・事務事業評価をさらに活用する方策

11:20～12:00

課題演習I 発表・講評

グループ討議結果を発表し、講師から講評していただきます。また、質疑応答、意見交換により、事務事業評価の活用に向けての理解をさらに深めます。

13:00～15:30

課題演習II グループ討議

施策評価の実施手順や活用方法を課題演習を通じて学びます。グループごとに具体的な事業をもとに施策評価シートを作成します。施策指標の分析等を行い、現状分析に基づく改善案を考えることで実践的な力を身につけます。

15:45～16:35

課題演習II 発表・講評

討議結果をグループごとに発表していただきます。その発表に対して、講師から講評をいただき、課題演習で得た気づき、経験、知識等を受講者全員で共有します。

16:50～17:30

講義 行政評価の基本と実践(2)

行政評価を総合計画、地方版総合戦略の進捗管理や予算編成改革、決算報告へ活用するための手法を、具体的な事例とともに解説していただきます。

17:30～18:00

演習 グループ討議

行政評価の実践上の課題等についてグループ別に討議を行い、疑問点を抽出します。

9:00～10:10

事例研究・質疑応答I 塩尻市における取り組み

長野県塩尻市企画政策部企画課 主任 北野 幸徳氏

予算編成に事務事業評価を効果的に活用することを目指して、行政評価システムに導入した事中評価を中心に、塩尻市の取り組みをお話しいたします。

10:25～12:00

事例研究・質疑応答II 目標別施策評価の活用と事務事業の改善～川西市における取り組み～

兵庫県川西市 副市長 本庄 重弘氏

長期に亘り、継続して成果を挙げておられる川西市の行政評価システムについて、その仕組みや活用方法、さらには評価をどのように行政経営改革につなげているのかなど、組織としての取り組みについてご紹介いただけます。事例のご紹介のあと、質疑応答を行います。

13:00～15:00

総括講義・質疑応答

事例研究のポイントを総括していただきます。その後、グループごとに抽出した疑問点について、講師から回答をいただきます。

15:00～15:30 **ふりかえり・研修アンケート記入・閉講**

※本研修は、講義、課題演習を通じて、稲沢克祐氏にご指導いただけます。

講師紹介

稲沢 克祐 (いなざわ かつひろ) 氏 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授

2006年から現職。専門分野は行政評価論、公会計論、地方財政論。

総務省地方公会計の活用の在り方に関する研究会委員、外務省政策評価アドバイザー委員、名古屋行政評価委員長、秩父市行政経営アドバイザー等の公職を歴任されています。

主な著書は、「一番やさしい地方交付税の本」(学陽書房)、「自治体の財政診断と財政計画～決算重視による財政マネジメント～」(学陽書房)、「増補版 行政評価の導入と活用～予算・決算、総合計画」(イマジン出版)、「自治体の予算編成改革」(ぎょうせい)、「自治体 歳入確保の実践方法」(学陽書房)、「英国地方政府会計改革論」(ぎょうせい)等多数。

- 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。
- 受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。
- 当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。